

【子ども教育学科】

アンケート集計結果

【前期:実施教員15名 回答数602名】

【後期:実施教員13名 回答数685名

:1年345名 2年175名 3年57名 4年8名 未記載100名】

■表1 全項目(①~⑪)の平均値の年度・前後期データ

(数字は、学科教員の平均値)

設問 番号	質問内容	2013 後期	2013 前期	2012 後期	2012 前期
学生の授業取り組みに関する質問					
①	私はこの授業によく出席した	4.61	4.62	4.61	4.62
②	私は授業内容について質問や発言をした	2.88	3.08	3.46	3.22
③	私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)	3.51	3.69	3.84	3.69
教員の授業実施方法に関する質問					
④	教員の声は聞き取りやすかった	4.13	4.20	4.21	4.12
⑤	教員の板書(または PPT・配布資料等)は読みやすかった(見やすかった)	3.77	3.97	4.16	3.85
⑥	教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた	4.32	4.43	4.42	4.40
⑦	教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた	4.02	4.18	4.24	4.03
⑧	教員は熱意を持って授業をしていた	4.44	4.52	4.50	4.40
総合的評価					
⑨	私はこの授業内容を理解できた	3.84	4.00	4.16	3.97
⑩	私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた	4.16	4.41	4.48	4.38
⑪	私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた	3.98	4.23	4.29	4.21

■表2 各項目の「特にそう思う」「多少そう思う」の占める割合 (%)

設問 番号	質問内容	2013 後期	2013 前期	2012 後期	2012 前期
学生の授業取り組みに関する質問					
①	私はこの授業によく出席した	90	94	92	92
②	私は授業内容について質問や発言をした	27	35	48	38

③	私はこの科目に積極的に取り組んだ (予習や復習をした)	48	59	67	60
教員の授業実施方法に関する質問					
④	教員の声は聞き取りやすかった	76	78	77	76
⑤	教員の板書(またはPPT・配布資料等) は読みやすかった(見やすかった)	61	69	76	64
⑥	教員は授業の開始・終了の時刻を守ろう としていた	82	85	84	87
⑦	教員は学生の反応を確かめながら授業を 進めていた	70	76	78	71
⑧	教員は熱意を持って授業をしていた	86	89	89	86
総合的評価					
⑨	私はこの授業内容を理解できた	66	74	80	74
⑩	私はこの授業で学んだ内容はなんらかの かたちで将来役に立つと感じた	78	87	88	86
⑪	私は総合的に判断してこの授業で満足が 得られた	70	81	82	83

## アンケート結果の分析

### 【全体的分析】

表1に示すように、学科教員の平均値が4ポイント以上の項目が、前期では8項目、後期では6項目あり、総じて授業評価はほぼ良好、ととらえていいように思われる。

次に、表2に示す「特にそう思う」「多少そう思う」の占める割合についてみると、80%台以上の項目が、前期は前年度も今年度も共に5項目であるが、後期は前年度6項目だったのが今年度は3項目に減少している。また後期、5割を割っている項目が2項目(②「質問や発言」27%、③「予習や復習」48%)存在する。更に、前期に比べ後期の値は全項目ダウンしている。これは表1についても同様である。後期がなぜ後退しているのか、その要因を分析する必要がある。後期の回答者数が前期に比べ83名多くなっていることが関係しているのかどうか？あるいは、学年別の回答者数に前期と後期で変動があり、それが関係しているのかどうか？

いずれにせよ、学生の授業への参加度を示す項目といえる②「質問や発言」、③「予習や復習」の低さを見る時、学生が能動的に参加する・参加したくなる授業のあり方を工夫していく必要があるように思われる。

以下は前期、後期それぞれについての個別的分析である。

### 【前期について】

#### ●表1から見てくること

2012年度前期と比較する時、「教員の授業実施方法」(④～⑧)、「総合的評価」(⑨～⑪)の全項目について、平均値がアップしている。総じて、授業改善の成果と言えよう。

#### ●表2から見てくること

2012年度前期に比べ、5ポイント以上アップしている項目は⑤「板書」、⑦「反応を確かめながら授業」の2項目である。改善がはかられつつあることが推測される。

### 【後期について】

●表1から見てくること

2012年度後期と比較する時、平均値が0.3ポイント以上ダウンしているのは、②③⑤と共に「総合的評価」の⑨⑩⑪である。2013年度前期との比較では、平均値が0.2ポイント以上ダウンしているのは、②⑤と共に「総合的評価」の⑩⑪である。総合的評価に関わる授業改善のあり方を探る必要があるように思われる。

●表2から見てくること

「特にそう思う」「多少そう思う」の占める割合が特に低いのは②「質問や発言」、③「予習や復習」であるが(これについては全体的分析で取り上げている)、⑤「板書」、⑨「理解」も6割台と低くなっている。上記表1のところで触れたことと考え合わせると、特に⑨「授業内容を理解できた」をどう改善するかがポイントの一つとなるのではないだろうか。